

第3号様式(別紙1-1)

令和 年度横浜市障害福祉分野における介護テクノロジー導入支援事業(介護ロボット等導入分)
実績報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

【基本情報】

フリガナ	シャカイフクシホウジン		
法人名	社会福祉法人十愛療育会		
フリガナ	タッチホドガヤ		
事業所名	たちちほどがや		
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)			
障害者支援施設			
職員数(常勤換算数)【「上記事業所種別において全職員の月間勤務時間数」÷「上記事業所種別において常勤職員の1月に勤務すべき時間数」にて算出(産休・育休・休職は除く)】			
73.5 人			
参考情報: 令和元年度から令和6年度に係るロボット等導入支援事業補助実績(複数回補助を受けている場合、補助年度は直近を選択)			
(補助実績)	なし	(補助年度)	

【報告に当たっての確認事項】 ※記載内容を確認し、チェックすること。

- ☒ ロボット等導入によって得られた生産性向上による業務効率化及び職員の業務負担軽減により超過勤務手当等の経費に金銭的剰余が出た場合には、当該費用を利用者が受ける障害福祉サービスの質の向上や職員の賃金改善に資する取組に適切に使用するとともに、その旨を職員等に周知した。
- ☒ 「福祉・介護職員等処遇改善加算」を算定した。
- ☒ 同一敷地内に障害者を支援する施設・事業所と障害児を支援する施設・事業所が併設されている場合、障害者を支援する施設・事業所に係るICT機器導入の費用のみ計上している(費用を按分している)。

1.事業実績

(1)主な導入機器内容(種別・機器名等)

- 機器の種別:
- ☒ 移乗介護

☒ 排泄支援

☐ 入浴支援
- ☒ 移動支援

☒ 見守り・コミュニケーション支援

☐ 機能訓練支援

☐ 食事・栄養管理支援

機器名: ささえ手

機器の特徴: 起立補助リフト 起立と着座はテコの原理を利用し、誰もが容易に介助が可能となる。キャスター付きで、立位補助と併せ移動も可能となり、排泄介助にも適している。

(2)機器を導入して感じた課題及び効果(複数回答可)

課題	効果
☐ 1 導入費用が高額である ☒ 2 機器に関する情報が少ない ☐ 3 機器が現場のニーズにあっていない ☐ 4 利用者・職員の安全面に不安がある ☐ 5 設置場所や準備・点検等、維持管理が大変 ☒ 6 使い方の周知や教育・研修等の業務改革の必要性がある ☐ 7 法人または施設・事業所としての具体的な方針が足りない ☐ 8 機器を活用するための人員体制が足りない ☒ 9 導入・活用する事に利用者・職員に抵抗感があった ☐ 10 その他 (※その他を選択した場合に記入)	☐ 1 ケアの質の向上 (利用者の自立支援、社会参加・コミュニケーション機会の増加に向けたケアの実施、根拠に基づいた支援の実施等) ☒ 2 職員の精神的・肉体的負担軽減 ☐ 3 業務の効率化 ☐ 4 会議や他職種連携におけるロボットの活用 ☐ 5 職員の確保・離職防止・定着に資する取組の推進 ☒ 6 ヒヤリハット・介護事故の防止 ☐ 7 その他 (※その他を選択した場合に記入)

(3)事業所が抱える課題

- ・利用者の加齢に伴う介護度が高くなっている。
- ・慢性的な人員不足。
- ・職員の熟年層化。
- ・赤字経営

(4)ロボット機器等を導入した業務内容(概要)

排泄時の立位補助

2.介護ロボット機器導入前の定量的指標及び介護ロボット機器導入後の定量的指標

(1)介護ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D÷A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数 (B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	18 人	2,480 件	29,760 件	20 分	178,560 人時間	551 時間
	2 排泄介助・支援	18 人	3,100 件	37,200 件	15 分	167,400 人時間	517 時間
	3 生活自立支援(※1)	18 人	1,860 件	22,320 件	20 分	133,920 人時間	413 時間
	4 行動上の問題への対応(※2)	16 人	1,488 件	17,856 件	10 分	47,616 人時間	186 時間
	5 その他の直接介護	18 人	2,480 件	29,760 件	15 分	133,920 人時間	413 時間
間接業務	6 巡回・移動	18 人	2,520 件	30,240 件	10 分	90,720 人時間	280 時間
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)	18 人	11,610 件	139,320 件	10 分	417,960 人時間	1,290 時間
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務	18 人	1,674 件	20,088 件	10 分	60,264 人時間	186 時間
			27,212 件	326,544 件	110 分	1,230,360 人時間	#DIV/0!

(2)介護ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D÷A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	18 人	2,480 件	29,760 件	10 分	89,280 人時間	276 時間
	2 排泄介助・支援	18 人	3,100 件	37,200 件	10 分	111,600 人時間	344 時間
	3 生活自立支援(※1)	18 人	1,860 件	22,320 件	15 分	100,440 人時間	310 時間
	4 行動上の問題への対応(※2)	16 人	1,488 件	17,856 件	10 分	47,616 人時間	186 時間
	5 その他の直接介護	18 人	2,480 件	29,760 件	15 分	133,920 人時間	413 時間
間接業務	6 巡回・移動	18 人	2,520 件	30,240 件	10 分	90,720 人時間	280 時間
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)	18 人	11,610 件	139,320 件	10 分	417,960 人時間	1,290 時間
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務	18 人	1,674 件	20,088 件	10 分	60,264 人時間	186 時間
			27,212 件	326,544 件	90 分	1,051,800 人時間	#DIV/0!

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

年間業務時間数削減率(%)

14.5%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

3. 介護ロボット機器等導入による費用対効果

(1)費用削減の有無

介護ロボット機器等の導入による費用の削減	なし
----------------------	----

(2)削減内容の詳細

※(1)を「あり」と回答した場合は、以下を回答すること。

削減額(円/月)	
職員の質上げ等への充当の有無	
その他職場環境の改善への充当	
サービスの質の向上に係る取組への充当	

(3)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

ロボット導入により職員の介助時の身体的、精神的負担の軽減。

(4)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

導入機器の業者による実践説明会を実施。

令和 年度横浜市障害福祉分野における介護テクノロジー導入支援事業(介護ロボット等導入分)
(施設等に対する導入支援分) 経費報告書

【基本情報】

法人名	社会福祉法人十愛療育会	
事業所名	たちほどがや	
職員数(実数)	92	人
施設利用者数	60	人

実支出額: 384,500 円

機器導入費用 (合計)	初期設定に要する費用 (合計)	値引額 (合計)
384,500	-	

No.	導入内容	数量	単価	機器導入費用	初期設定に要する費用
1	ささえ手 大径キャスター仕様	1 台	370,000	370,000	
2	ささえ手専用補助ベルト	1 台	14,500	14,500	
3		台		0	
4		台		0	
5		台		0	
合計				384,500	-

機器の導入経費(購入費用及び初期設定費用)と認められない経費は対象外とする。

- 【対象外となる経費の例】
- ・Wi-Fi工事等通信環境整備に要する経費
 - ・機器の配送料
 - ・PC、タブレット及びその付属品
 - ・工事費(設置費は可能)

備考 (特別な事情等があれば記載)	
----------------------	--

※ 本内訳書の資料として、複数の業者から徴した見積書の写し(PDFファイルに限る。)を添付すること。